

## アドヘサミン-RGDS(x2)水溶液 (Adhesamine-RGDS(x2))

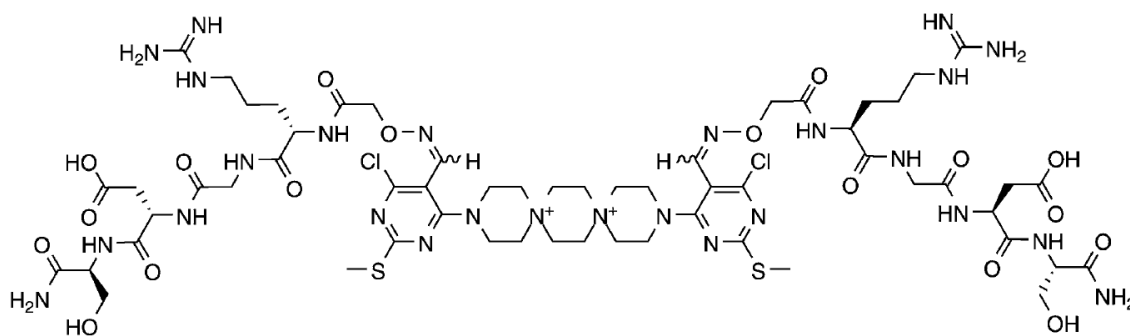
### お取扱の注意

- ◆本製品は試験研究用の試薬用途としてのみご使用ください。
- ◆本製品は0.2 μmフィルターで処理を行っております。
- ◆本製品は-20°Cで保管してください。融解後はできるだけ速やかにご使用ください。
- ◆本品の使用、廃棄にあたっては、保護具（保護手袋、保護メガネなど）着用や、眼に入った場合や皮膚に付着した場合はよく水洗するなど、実験室での一般の注意事項を厳守し安全にご留意ください。
- ◆誤って眼に入った場合や皮膚に付着した場合は、よく水洗いするなど応急処置を行い、必要があれば医師の手当などを受けて下さい。

### □化学名：

L-Serinamide, 1,1'-[3,12-diaza-6,9-diazoniadispiro[5.2.5.2]hexadecane-3,12-diylbis[[6-chloro-2-(methylethyl)-4,5-pyrimidinediyl]methylidynenitriloxy(1-oxo-2,1-ethanediyl)]]bis[L-arginylglycyl-L-α-aspartyl-, 2,2,2-trifluoroacetate (1:?)

### □構造式：



CAS番号：1632449-71-8

濃度：5mg/mlの水溶液

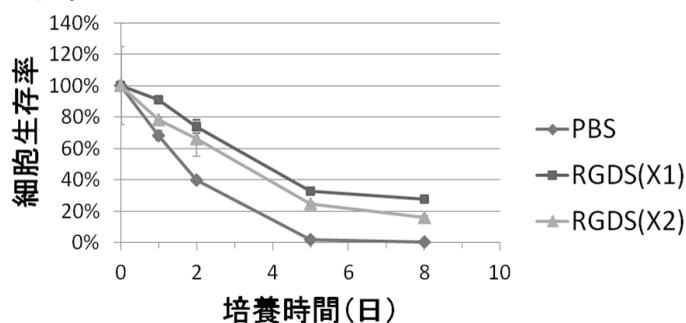
文献：Angewandte Chemie, International Edition (2014), 53(42), 11208-11213

**□ご使用方法：**

適切な細胞密度の細胞懸濁液にアドヘサミン-RGDS誘導体水溶液を添加する。推奨するアドヘサミン-RGDS誘導体の最終濃度は、25 ~ 100 $\mu$ g/mL (15 ~ 60 $\mu$ M)。

**□ご使用例：NIH 3T3細胞**

- ① NIH 3T3 細胞を  $3 \times 10^5$  cells/ml になるよう DMEM (血清無添加) に懸濁した。
- ② NIH 3T3 細胞懸濁液 2.5 mL にアドヘサミン RGDS 水溶液 (5 mg/mL) 25  $\mu$ l を添加し、混和した [最終濃度：50  $\mu$ g/mL (30  $\mu$ M)]。
- ③ 500  $\mu$ l/well ずつ 24 ウェル浮遊細胞培養用プレートに分注した (プレート 5 枚、n=4)。
- ④ 0、1、2、5、8 日後に AlamarBlue により細胞数を測定した (0 日目を 100% としてプロットした)。

**□ご使用期限：1年**

**製造元：ナガセケムテックス株式会社**

**販売元：長瀬産業株式会社 メディカル事業戦略室**

〒103-8355 東京都中央区日本橋小舟町5-1

Tel: 03-3665-3287 Fax: 03-3665-5400

URL [http://www.nagase.co.jp/shiyaku/shiyaku\\_top\\_page.html](http://www.nagase.co.jp/shiyaku/shiyaku_top_page.html)